



Contents

はじめに

前5～後8世紀 (古代ギリシア・ローマ時代を中心として)

時代と社会／音楽史の流れ	10
古代ギリシア演劇の発達	11
ムーシケーの概念	12
古代ギリシアの音楽理論	14
古代ギリシア哲学における音楽	16
地中海地域のキリスト教聖歌	17
キリスト教における音楽	17
〈コラム〉	
古代ギリシアの楽器	13
ピュタゴラスによる音程の発見 ☆ピュタゴラス／ニコマコス	14
古代ギリシア語起源の音楽用語	15
聖書と音楽	19
まとめと今後の勉強のために	19

9～14世紀 (中世)

時代と社会／音楽史の流れ	20
修道院・聖歌学校の設立	21
グレゴリオ聖歌	22
大学の設立	24
騎士歌人の音楽 ☆ヴェンタドルン	26
パリのノートルダム大聖堂	27
ノートルダム楽派 ☆レオニヌス／ペロティヌス	28
ヨーロッパ大陸とイングランドの文化交流	31
アルス・ノヴァ ☆マジョー	31
イタリアのトレチェントの音楽	34
〈コラム〉	
ドレミ…の成立	30
〈聴いておきたい名曲〉	
4声オルガナム《地上の国々を見た》ペロティヌス 作曲	29
ノートルダム・ミサ曲 マジョー 作曲	32
〈知っておきたい音楽用語〉	
教会旋法	23
ネウマ譜	24
モテット	33
ランディーニ終止	35
まとめと今後の勉強のために	35

15～16世紀（ルネサンス）

時代と社会／音楽史の流れ	36
ブルゴーニュ楽派	37
フランドル楽派 ☆ジョスカン・デブレ	39
ルターの音楽観	44
プロテスタントの音楽	44
楽譜の印刷技術の開発	46
ヴェネツィア楽派 ☆A. ガブリエーリ／G. ガブリエーリ	47
ローマ楽派 ☆パレストリーナ	48
〈コラム〉	
楽譜の歴史	52
ルネサンスの楽器 ☆ダウランド	54
〈聴いておきたい名曲〉	
バラード／ミサ曲《もしも顔が蒼いなら》デュファイ 作曲	38
ミサ曲《パンジエ・リングア》ジョスカン・デブレ 作曲	40
モテット《アヴェ・マリア》パレストリーナ 作曲	49
コンソート《涙のパヴァーヌ》モーリー 編曲	54
〈知っておきたい音楽用語〉	
模倣様式	41
計量記譜法（定量記譜法）	42
オラトリオ	48
マドリガーレ	50
マニエリスム	51
ア・カペッラ	51
まとめと今後の勉強のために	55

17世紀（バロック）

時代と社会／音楽史の流れ	56
イタリアの「新音楽」 ☆カッチーニ	57
オペラの誕生と普及 ☆モンテヴェルディ／A. スカルラッティ	59
フランス：ヴェルサイユの宮廷音楽 ☆リュリ／クーブラン	61
ドイツ：三十年戦争時代の音楽 ☆シュッツ／フローベルガー	65
器楽の隆盛	67
〈コラム〉	
イギリス・ルネサンスのシェークスピア演劇と音楽 ☆パーセル	64
ヴァイオリンの歴史	68
〈聴いておきたい名曲〉	
モノディー《麗しのアマリツリ》カッチーニ 作曲	58
オペラ《オルフェオ》モンテヴェルディ 作曲	60
オペラ《アティス》リュリ 作曲	63
クラヴサン曲《シテール島の鐘》クーブラン 作曲	63

合奏協奏曲 ト短調《クリスマス》コレッリ 作曲	69
〈知っておきたい音楽用語〉	
通奏低音 (バスソ・コンティヌオ)	58
旋法、音階、調、調性	66
まとめと今後の勉強のために	69

18 世紀 (バロック～古典派)

時代と社会／音楽史の流れ	70
イタリア：ナポリとヴェネツィア ☆ヴィヴァルディ	71
フランス：パリ ☆ラモー	73
ドイツ：ハンブルク、ライプツィヒ、ベルリン、マンハイム ☆J.S. バッハ／C.P.E. バッハ	75
イギリス：ロンドン ☆ヘンデル／J.C. バッハ	80
前古典派	82
オーストリア：ウィーン ☆ハイドン／モーツァルト	84
〈コラム〉	
ピリオド (古楽) 演奏	73
啓蒙主義と音楽	82
古典派ソナタに至る歴史 ☆D. スカルラッティ	88
古典派の交響曲	90
〈聴いておきたい名曲〉	
ヴァイオリン協奏曲集《和声と創意の試み》から〈四季〉 ヴィヴァルディ 作曲	72
幻想曲とフーガ ト短調 (BWV542) J.S. バッハ 作曲	77
マタイ受難曲 J.S. バッハ 作曲	78
フランス組曲第5番 ト長調 J.S. バッハ 作曲	79
オラトリオ《メサイア》ヘンデル 作曲	81
弦楽四重奏曲第77番 八長調《皇帝》ハイドン 作曲	87
交響曲第41番 八長調《ジュピター》モーツァルト 作曲	87
オペラ《魔笛》モーツァルト 作曲	88
〈知っておきたい音楽用語〉	
バロック組曲	79
ギャラント様式	83
まとめと今後の勉強のために	91

19 世紀 (古典派～ロマン派)

時代と社会／音楽史の流れ	92
ウィーンとベートーヴェン ☆ベートーヴェン	94
ウィーンのビーダーマイヤー時代と検閲	97
ドイツ音楽の隆盛 ☆シューベルト／シューマン／メンデルスゾーン	98
音楽のロマン主義 ☆ベルリオーズ	101

サロンとヴィルトゥオーソ ☆ショパン／リスト	106
ウィーンのリングシュトラーク文化と擬古典主義 ☆ブルックナー／ブラームス	109
ヴァーグナーの「楽劇」 ☆ヴァーグナー	111
イタリア・オペラ ☆ロッシーニ／ヴェルディ／プッチーニ	115
オペレッタ、ウィンナ・ワルツの隆盛	117
民族主義運動の勃興	118
国民楽派 ☆ムソルグスキー／リムスキー＝コルサコフ／スメタナ／ドヴォルジャーク	119
バレエ音楽の確立 ☆チャイコフスキー	122
フランス国民音楽協会 ☆サン＝サーンス／フォーレ	123
後期ロマン派と世紀末 ☆マーラー／R.シュトラウス／ラフマニノフ	126
象徴主義・印象主義の音楽 ☆ドビュッシー	128
〈コラム〉	
ベートーヴェンの交響曲	94
フランス革命と音楽	96
パリ国立高等音楽院と各国の音楽院	105
ピアノの歴史	108
バイロイト祝祭劇場	112
イギリスの作曲家	125
ジャポニスムと音楽	129
ドビュッシーの和声	131
時代を先取りした作曲家サティ	132
〈聴いておきたい名曲〉	
交響曲第9番 二短調《合唱付き》 ベートーヴェン 作曲	95
歌曲集《冬の旅》 シューベルト 作曲	99
ピアノ曲集《謝肉祭》 シューマン 作曲	100
ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 メンデルスゾーン 作曲	101
幻想交響曲 ベルリオーズ 作曲	103
エチュード〈別れの曲〉／スケルツォ第2番 ショパン 作曲	107
交響曲第1番 八短調 ブラームス 作曲	110
オペラ《ラ・トラヴィアータ（椿姫）》 ヴェルディ 作曲	116
交響詩〈ヴルタヴァ（モルダウ）〉 スメタナ 作曲	120
交響曲第9番 ホ短調《新世界より》 ドヴォルジャーク 作曲	121
バレエ音楽《白鳥の湖》 チャイコフスキー 作曲	123
交響曲第1番 二長調《巨人》 マーラー 作曲	127
牧神の午後への前奏曲 ドビュッシー 作曲	128
〈知っておきたい音楽用語〉	
イデー・フィクス（固定楽想）	104
交響詩	104
ライトモチーフ（示導動機）	112
標題音楽と絶対音楽	114
トリスタン和音	130
まとめと今後の勉強のために	133

20～21世紀(現代)

時代と社会／音楽史の流れ	134
表現主義の音楽 ☆シェーンベルク／ヴェーベルン／ベルク	135
無調音楽 ☆スクリャービン	137
音楽のフォーヴィスム(原始主義)	138
ヴァイマル文化	139
新古典主義 ☆ストラヴィンスキー／ヒンデミット	141
民族主義的音楽 ☆バルトーク／コダーイ／ラヴェル／ファリャ	142
12音技法の音楽	145
アメリカ的音楽を求めて	147
アメリカの前衛音楽	154
ロシア・ソ連の音楽	157
ジダーノフ批判 ☆ショスタコーヴィチ	158
ユダヤ人音楽家の亡命	159
アメリカにおける亡命文化	160
冷戦と音楽家	161
ミュージック・コンクレートと電子音楽	163
トータル・セリー(総音列主義) ☆メシアン／ブーレーズ	164
偶然性の音楽 ☆ケージ／シュトックハウゼン	166
新ロマン主義と多様性主義	171
コンピュータ音楽	173
サウンドスケープ	174
ネット配信からアクセスの時代へ	174
〈コラム〉	
20世紀の絵画と音楽	140
アメリカの歴史：誕生と奴隷制度	151
戦争と音楽	162
ダルムシュタット国際現代音楽夏期講習会	168
トーン・クラスターの響き ☆ベンデレツキ	169
メルヘンと伝説を愛した作曲家 ☆オルフ	170
新しい音楽技法	172
〈聴いておきたい名曲〉	
バレエ音楽《春の祭典》ストラヴィンスキー作曲	138
バレエ音楽《ボレロ》ラヴェル作曲	143
コントラスツ バルトーク作曲	144
ピアノ組曲(op.25) シェーンベルク作曲	146
ラプソディー・イン・ブルー ガーシュイン作曲	150
ウエスト・サイド物語 バーンスタイン作曲	150
〈知っておきたい音楽用語〉	
ブルー・ノート	151
微分音	156
図形楽譜	167
プリペアド・ピアノ	168
まとめと今後の勉強のために	175

明治 (1868 ~ 1912) ・ 大正 (1912 ~ 1926)

時代と社会／音楽史の流れ	176
洋楽導入	177
音楽取調掛 ☆伊澤修二	179
東京音楽学校とお雇い外国人 ☆滝 廉太郎／ケーベル	180
鹿鳴館と西洋音楽	182
常設オーケストラの誕生 ☆山田耕筰	184
日本のオペラ	185
〈コラム〉	
明治維新と日本の伝統音楽	178
東京音楽学校存廃論争	183
ドイツ人俘虜収容所と《第九》	186
〈聴いておきたい名曲〉	
組歌《四季》 滝 廉太郎 作曲	182
歌曲《からたちの花》 山田耕筰 作曲	185
まとめと今後の勉強のために	187

昭和 (1926 ~ 1989) ・ 平成 (1989 ~ 2019) ・ 令和 (2019 ~)

時代と社会／音楽史の流れ	188
戦時体制下の音楽	189
大学における音楽教育	190
現代音楽祭の盛況～大阪万博	193
ホール・劇場の整備	195
文化や芸術を支える社会の仕組み	196
音楽による社会参加	197
インターネット時代の音楽	198
パンデミックとデジタル活用	199
〈コラム〉	
初音ミク	198
〈聴いておきたい名曲〉	
ノヴェンバー・ステップス ☆武満 徹 作曲	193
オペラ《夕鶴》 ☆團 伊玖磨 作曲	194
〈知っておきたい音楽用語〉	
現代邦楽	192
まとめと今後の勉強のために	200

おわりに

索引	人名索引	202
	事項索引	210

編著者・執筆者プロフィール 215